



「真実を正しく伝える」それさえできない
チベットの現実が続いています!

住民には共産主義改革が押し付けられた。
生活様式がむりやり変更され、
何百という宗教施設や文化施設が
徹底的に破壊された。(中略)
1959年3月10日、ラサで民族蜂起。
1週間後にダライ・ラマ14世は亡命する。
チベットの政治制度を尊重し、
改革にあたっては
地域のチベット人指導者に相談するという
約束は反故にされた。(本文より)

この歪みは私たちと同じ地平にある。
ゆが

TIBET

ノルブリンカ
約束の庭
中国侵略下のチベット50年

目次

- 1章 国家の消滅
- 2章 改革と経済的統合
- 3章 弾圧—果てしなく続く長い夜
- 4章 心—新しいイデオロギーと伝統の精神
- 5章 教育と医療—人間形成の貧しさ
- 6章 人口政策
- 7章 天然資源—地神の祭壇における強欲主義
- 8章 軍備—世界の屋根に捉えられた大砲
- 9章 対話—平和の提案と持久戦
- 10章 開発—中国の発展を目的としたチベットの開発
- 11章 青蔵鉄道—チベットの運命をにぎる鉄道建設

付章1 歴史からみたチベットの現状

付章2 チベットの古い社会体制

資料 図版中国侵攻前・中国侵攻後のチベット
図版インドとネパールのチベット人居留区
本文掲載地名対照表
2008年抗議デモ勃発地一覧

産経新聞書評(2009年11月8日)掲載!
その他メディアでの紹介多数!

原書:チベット亡命政府 情報・国際関係省編
『Tibet Under Communist China: 50 Years』

ISBN978-4-9901254-9-3

翻訳:南野善三郎

発行社:風彩社

定価:1680円(税込み)

■お申込み・問い合わせ

風彩社

電話・FAX:045-943-5258

メールアドレス:tibetrasa@gmail.com

TIBET